

「避難カード」の活用 ~わたしは逃げるよ! 家族で決めた場所で会おうね~

いざという時、家族を信じ、一人一人がきちんと避難することが大切です。そのために、家族で緊急避難先や避難所を事前に話し合い、書き留めておくことが必要です。

※このカードは、県教育委員会のホームページからダウンロードすることができます。

「避難カード」

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/501200/d00154057.html>

※県防災企画課ホームページからもダウンロードができます。書き方についての動画も載せていますので参考にしてください。

避難カード		避難
名前	和歌山 太郎	緊急避難先 ① <input type="checkbox"/> 小学校 ② <input checked="" type="checkbox"/> 山公園
住所	和歌山市小松原通1-1	地震・津波 避難所 <input type="checkbox"/> 小学校
生年月日	2000年 1月 1日	性別: 家族
緊急連絡先	① 000-000-0000 ② 000-000-0000 ③ 000-000-0000	緊急避難先 ① <input type="checkbox"/> 小学校 ② <input type="checkbox"/> 高等学校
		風水害 避難所 <input type="checkbox"/> 小学校

〈記入例〉

災害用伝言ダイヤル171

電話を利用して被災地の方の安否情報を確認する「声の伝言板」です。(NTT西日本HPより)

●伝言録音 (被災したAさんが、無事であることを伝えたい)

171 + 1 + Aさんの自宅などの電話番号

●伝言再生 (家族や親戚・友人がAさんの安否を確認したい)

171 + 2 + Aさんの自宅などの電話番号

「稲むらの火の館」情報

〒643-0071 和歌山県有田郡広川町広671 TEL:0737-64-1760
<https://www.town.hirogawa.wakayama.jp/inamuranohi/>

◆開館時間 / 午前10時から午後5時 (入館は午後4時まで)

◆休館日 / 月曜日 (祝日の場合は、その翌平日) 年末年始 (12月29日から1月4日)

◆入館料 / 一般: 500円 高校生: 200円 小・中学生: 100円

※学校の教育活動の場合、小・中学生は半額
※団体での来館については事前申込みが必要 (令和6年3月31日現在)

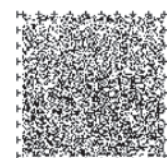
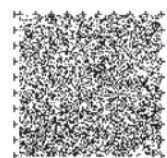


防災体験室

展示室

3D津波映像シアター

津波シミュレーション



11月5日

毎年11月5日が「世界津波の日」として制定されました!

世界津波の日

Nov.5 World Tsunami Awareness Day



濱口 梧陵

©クニ・トシロウ ケイ・タロー

「世界津波の日」

平成27年(2015年)12月の国連総会で、11月5日が「世界津波の日」として定められました。これは、日本を含め142の国が提案したものです。今後は、11月5日に合わせて、津波防災の啓発活動が世界的に展開され、津波による犠牲者がなくなることを期待されています。

どうして、11月5日なの?

この日は、江戸時代の後期、安政元年11月5日、安政南海地震による津波が和歌山県をおそった際に、稲の束に火をつけ村人を救ったという「稲むらの火」の故事にちなんでいます。

(平成23年3月の東日本大震災で甚大な津波被害が発生したことから、同年6月、津波被害から国民の生命、身体及び財産を保護することを目的に「津波対策の推進に関する法律」が制定され、この法律で毎年11月5日が「津波防災の日」と定められました。)

(安政元年11月5日…現在の暦では、1854年12月24日)

和歌山県教育委員会



「稲むらの火」の故事？ だれが村人の命を救ったの？



はまぐち りょう
濱口 梧陵

安政南海地震による津波に見舞われた11月5日、濱口梧陵は広村（現在の和歌山県有田郡広川町）で貴重な稲むら（稲の束を重ねたもの）に火をつけて、暗闇の中で逃げ遅れている人たちを高台に避難させ多くの命を救いました。

濱口梧陵の復興活動

濱口梧陵は津波による被害の後、村からの人口流出を防ぐため、また、村を津波から守るために私財を投じて堤防を築く大工事を行いました。

この堤防により、約90年後に発生した昭和南海地震による津波の被害は軽減されました。



上空から（現在の様子）



堤防

濱口梧陵の偉業を後世に伝えるために 「稲むらの火の館」

濱口梧陵の精神や復興への取組を後世に伝えるとともに、津波防災の意識を高めるための施設として、平成19年（2007年）4月に和歌山県有田郡広川町に建設されました。

当施設は、「濱口梧陵記念館」と「津波防災教育センター」の2施設からなります。

濱口梧陵記念館
梧陵ゆかりの品々を展示し、偉大な功績とその生涯を紹介しています。

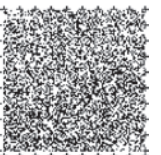
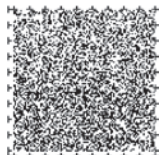
津波防災教育センター
3D映像や津波実験装置により、津波について学習することができます。



外観



標柱



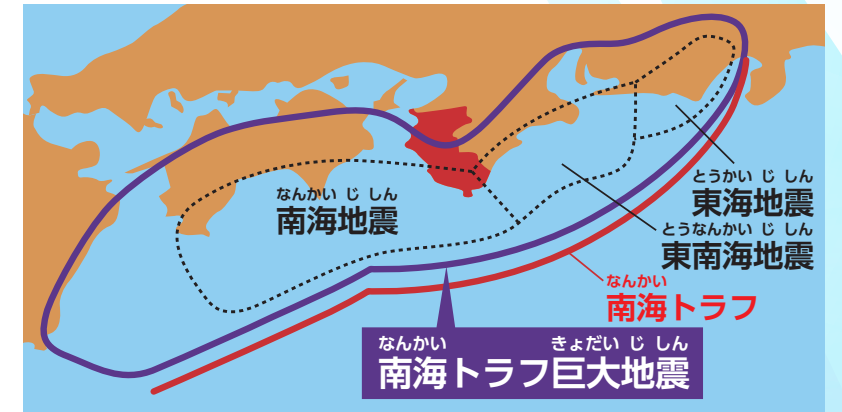
必ずやってくる！地震・津波に備えよう

南海トラフの地震は、近い将来発生する確率が高い地震であり、和歌山県にとっても近いところで発生するため、地震・津波から命を守る対策が必要です。

【南海トラフの地震発生確率】

30年以内に
70～80%程度
(マグニチュード 8～9クラス)

令和6年1月現在
(地震調査研究推進本部発表)



津波避難3原則

津波警報が発表されたら、

迅速に高台など安全な避難場所へ避難しましょう!!

津波避難 3原則

- 1 想定にとらわれない
- 2 最善を尽くせ
- 3 率先避難者になれ



片田敏孝 東京大学大学院情報学環 特任教授 監修

津波てんでんこ

「津波てんでんこ」とは、三陸地方に言い伝えられている言葉であり、「てんでんこ」とは、てんでばらばらという意味です。「津波の時は、まず自分の命を守ることを考えててんでんばらばらに必死に逃げることで、そうすることで全員が助かる」という意味合いをもっています。家族一人一人が、きちんと避難するという確信をもてるよう、家族で話し合っ

